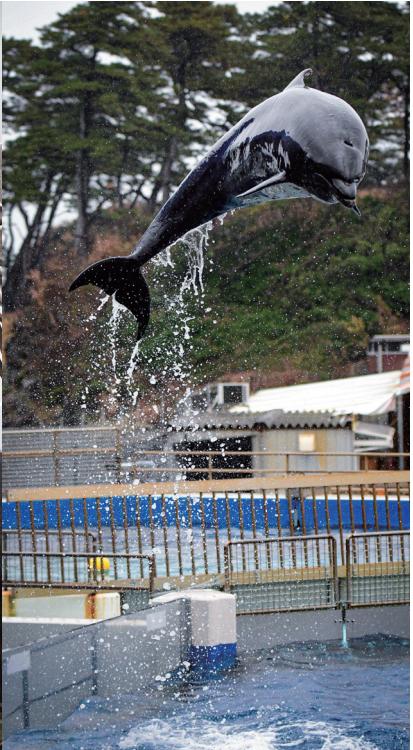
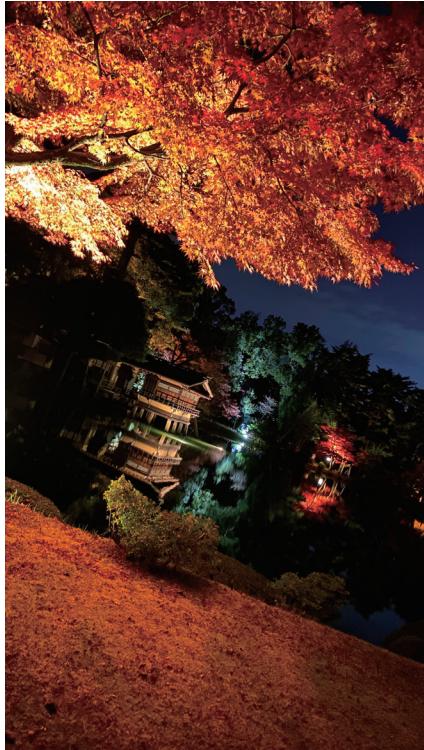




樹妙だより

No.193 2022/1



2年生修学旅行（11/21～24）



明照学園 理事長
樹徳高等学校長
野口秀樹

健やかに新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

本年も充実した一年になるよう努めてまいりましょう。

小学校唱歌「お正月」をご存知ですか。あの唄のように、私の子どもの頃は待ち遠しい楽しいお正月でした。先ずはお年玉を頂けること。恥ずかしながら喜んで親戚回りを致しました。それから頂いたお年玉を握りしめておもちゃ屋へも行きました。2人の姉に連れられて必ず映画館にも出かけて行きました。当時映画は最高の娯楽だったのです。等々私にとったら楽しいことばかりのお正月でした。

あれから半世紀以上過ぎ、今の私のお正月は様変わりであります。先ずは充実した一年にするため決意を新たに致します。そして意欲

をもって大事に第一歩をしますのです。これが私の元旦なのです。

朝寝坊など出来ない、元旦は緊張の朝となります。

成長とは責任の拡大だといわれた方がおりますが、正にその通りであります。

お正月は新しい年を祝う行事です。心も体も新しく生まれ変わる。そして一年の無事息災や五穀豊穣を与えてくれる年神さまを我が家にお迎えする。ですから目印として門松や松飾りを飾ります。

昔の日本人は正月の縁起を大切にしました。おせち料理もそうです。数の子・・・子孫繁栄、黒豆・・・まめに働き無病息災、レンコン・・・将来の見通しがきくように、紅白かまぼこ・・・紅は魔除け白は清浄、こぶ・・・喜ぶ毎日、ぶり・・・出世魚立身出世、お正月は一年の無事幸せを祈る行事なのです。

先人達が築き上げた日本の良き伝統、今を生きる私達はもっと大切にしなければいけません。

合掌

コロナ禍の中で



樹徳高等学校 副校長
野村 聰

新年あけましておめでとうございます。よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中はご厚情を賜り、ありがとうございました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の対応に追われましたが、日本では外国のような「都市封鎖」を実行することが法制的に難しいため、国民一人ひとりに自律的な「行動変容」が求められました。その時に、どのように呼びかけると感染防止に効果的かを、報道番組で助言していた識者に行動経済学の専門家がおり、なぜ、ここで経済学なのか疑問に感じるとともに、その聞き慣れない学問領域に興味を持ち、関係書籍を少し繙いてみました。

従来の経済学では国内総生産などマクロ経済現象を探究するのに対して、行動経済学は個人の経済行動と心理を研究対象にしています。行動経済学を代表する研究分野に「確率と意思決定に関すること」があります。その研究に関する質問をします。

もし、あなたが年末年始の休みを利用して東京ディズニーランドに遊びに行き、友人に3,000円でお土産を買おうとした時に、次の2つの選択肢のどちらを選びますか、考えてみてください。

- (A) 定価どおり3,000円を支払う。
(B) 8割の確率で4,000円を支払わなければならないが、2割の確率で無料となる。

計算すると、Bの損失の期待値は、3,200円(=4,000×0.8+0×0.2)で、Aよりも損失は大きくなります。合理的な存在である人間は、損失の小さいAを必ず選択するはずですが、実際には、確実に損失が生じるAよりも高い確率でより多くの損失になるが、低い確率で損失がゼロになることもあるBを選ぶ人が多いようです。なぜ、このような選択肢を選ぶのかを説明するのが、行動経済学における「プロスペクト理論」です。この理論を提唱したアメリカのD・カーネマンはその功績により2002年にノーベル経済学賞を受賞しています。人間は現在所有している財が1単位増加する場合と1単位減少する場合とでは、減少する場合の方の価値に注目し、少しでもその損失を小さくすることを望みます。そうすると、選択肢Aでは確実に3,000円を支払わなければなりませんが、選択肢Bでは2

割の確率で支払いがゼロになるので、人間は低い確率であっても支払いが0円になる可能性があるBの方に魅力を感じがちです。さらに、プロスペクト理論では客観的な確率がそのまま人間の主観的な確率となるわけではなく、心の中で何らかの重みづけがなされると考えます。客観的には2割の確率でも主観的には5割と考えるかもしれません。たとえば、年末ジャンボ宝くじの当選確率は極めて低いのに私を含めて多くの人が1等当選を夢見て宝くじを購入するのは、客観的にはめったに起きない僥倖を、主観的には高い確率で起きる幸運として認識するからです。また、喫煙は将来各種のがんになる確率が高まることが医学的に証明されているのに禁煙しないのは生活習慣による疾病の発生といった現象は、主観的には「自分は大丈夫」という根拠のない自信により低い確率として認識されているからでしょうか。それゆえ、Bの「無料となる」という確率が主観的には過大に評価され、AよりもBの方が望ましいと考え、多くの人が選択することになります。

このように、人間の意思決定は、必ずしも合理的な確率に基づかない傾向があり、結果として高いリスクを選択してしまうことがあることを予め承知しておくことは、人生の岐路となるような場面や生命安全に関わるような重要な判断をする時には大切だと思いました。なお、前述の識者がコメントを求められたのは、これまでの経済学では自分の利益のみを最大化する主体を想定していたのに対して、行動経済学が自分以外の他者のことを考慮して行動する「社会的選好」という人間の行動を明らかにしたからだと思います。

新たな変異株の出現など、コロナ禍が続く中で、私たちは今後どう行動すべきか、確信を持った答えを見いだしにくい状況にありますが、本年4月から新学習指導要領に基づく教育課程が本校でも始まります。今回の改訂の趣旨を担う「総合的な探究の時間」では、目の前にある複雑な事象から解決すべき自分の課題を発見し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、最適解あるいは納得解を生み出す資質・能力を育成することを目指します。そこで身につける資質・能力は、現在の不透明で不安な状況の中で生き抜くために有用である信じ、その指導方法等を先生方と鋭意研究しています。「可能性の塊」である生徒の成長を願い、本年もしっかり支援・指導していきたいと考えております。

「真」「善」「美」

「小学校5年生の頃から弓道をしています」などと話すと、大抵の場合、周囲の人物に驚かれる。そして多くの人は自身の知り得る弓道のイメージを語り出す。ある人は動作を真似て「簡単じゃないか」と言ってみたり、ある人は「的にたくさん矢が中り、大会で勝利する人のほうが強い」と豪語したりといった具合にある。しかし個人的な意見を語るならば、弓道は簡単にはできないものであるし、大会に勝利するから強いというものではない。

弓道という武道は不思議なものである。同じ場所に立ち、同じ動作をして、同じ場所を狙っているのに、同じ場所に矢が刺さることはない。弓道を知らない人からすると、条件が一緒であるならば矢はほとんど同じ場所に刺さるのではないかと考えてしまうだろう。もし違う場所に矢が刺さったのならば、それは雨や風などが影響したのではないかと考える人もいるだろう。しかし実際のところ、同じ場所に矢が刺さるというのは非常に稀なことなのだ。

なぜ同じ場所に矢が刺さらないのか。この理由は単純で、自分たちは同じ動作を繰り返していると考えても、その過程のどこかで小さな差異が生まれているからである。これらはどんなに小さかったとしても、矢が刺さる場所という結果に大きく影響してくる。例えば、立ち位置。同じ場所に立っているつもりでも、実際には数ミリメートルずれている。ちょっとだけ前だったり後ろだったりする。このたった数ミリメートルのずれは、約20メートル離れると数センチメートルのずれへと変化する。小さなずれが次第に大きなずれへと変化していくから、同じ場所に矢は刺さらない。

このようにならないためには、どんな場所でも的に対して必ず同じ位置に立てるように修練するしかない。そして、こうした修練は正しい弓の引き方へとつながっていく。正しい弓の引き方を弓道では「真」と呼ぶ。弓道を趣味とするならば、この「真」を求め続けなければならない。弓道の動作を簡単という言葉で片付けられないのはこのためである。

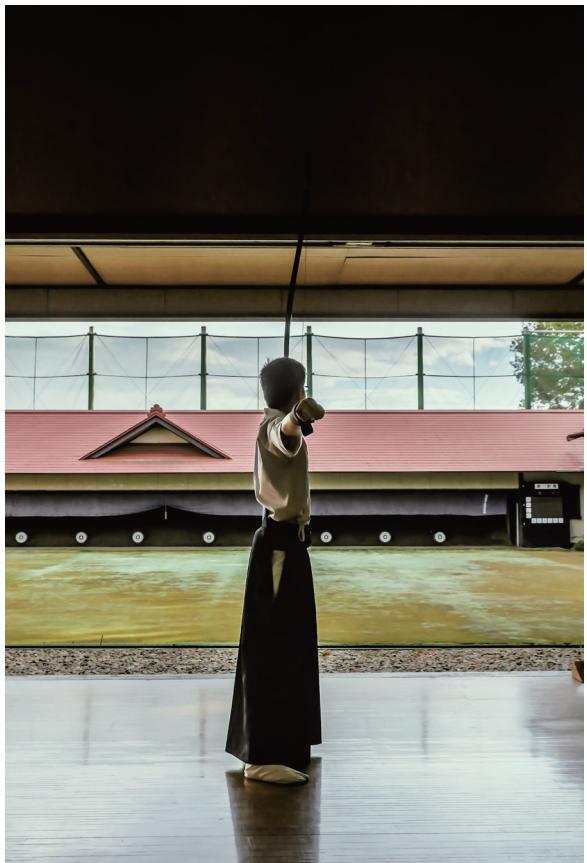
大会に勝利する人が強い、と思わないことについても触れておこう。たしかに弓道にも他の武道やスポーツと同様に大会がある。大会で勝利して自身の名を刻むためには、的にたくさんの矢を全て良い結果を出すしかない。しかし、こういった勝利に拘泥する人の弓の引き方は、次第に醜いも

のに変化していく。最初のうちは本人は気にしないかもしれないが、その醜さは少しずつ「真」を蝕み、射形は崩れ、矢が的に中ることはなくなっていく。

なぜ勝利に拘泥すると、弓の引き方が醜くなるのか。この理由も単純で、他者と争っているという考えがあるためである。この考えはいつしか「憎しみ」や「嫉妬」に変わり、先ほどの「真」を求める心に対して邪魔をするばかりか、他者との関係性を悪化させてしまう。他者とどんなに争ってもそこに「真」はない。「真」を求めるならば、争うべきは他者ではなく自分だ。他者とは意見を分かち合い、お互いにその成果を称え合うべきである。他者との協調性を弓道では「善」と呼ぶ。弓道は道徳心が非常に影響するのだ。

これらの「真」と「善」を追い続けていくことで初めて、弓道は「美」の境地に達することができる。多くの人が弓道を「美しい」と感じる裏には、「真」を求め「善」を尽くす姿がある。弓道という武道は、奥が深いものなのだ。そしてこの「真」「善」「美」という考え方方は、弓道に限ったことではないと私は考えている。いつまでも怠けることなく、この「真」「善」「美」を追い求めていきたいものである。

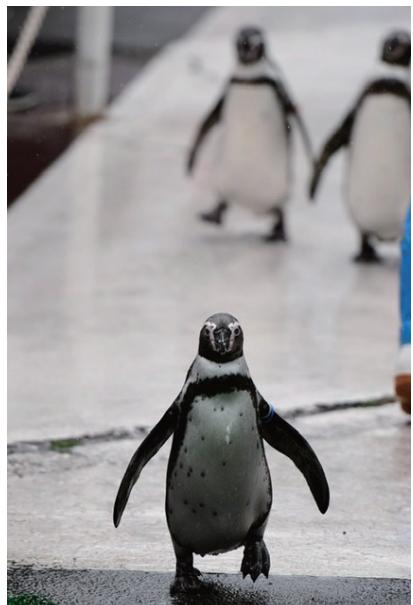
〈国語科 細矢 萌〉



2年生修学旅行特集

これまで本校では伝統的に京都方面への修学旅行が実施されてきましたが、昨年度からは平和学習を主眼とした、沖縄方面への修学旅行に改編される予定でした。しかし、コロナ禍で沖縄の医療体制が逼迫したことから、昨年度は中止となり、代替行事を行いました。

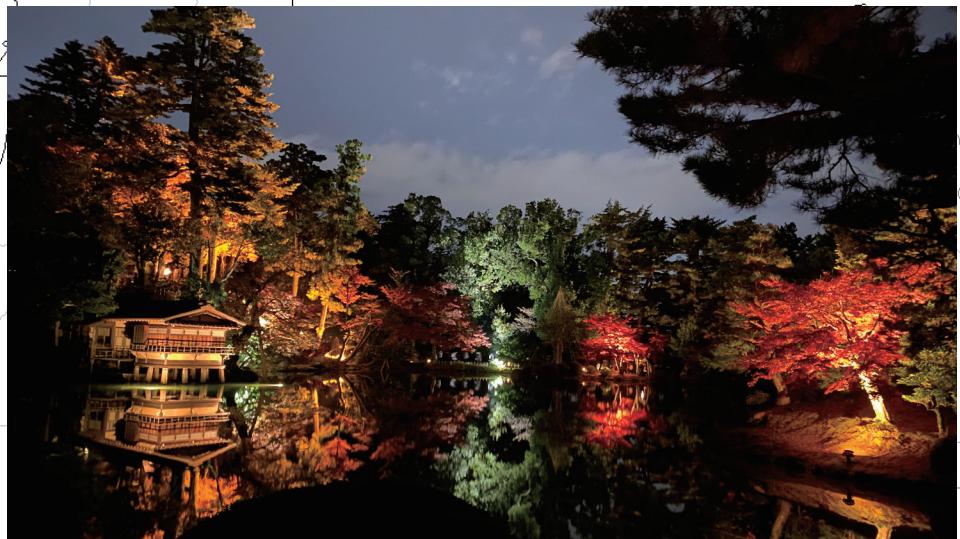
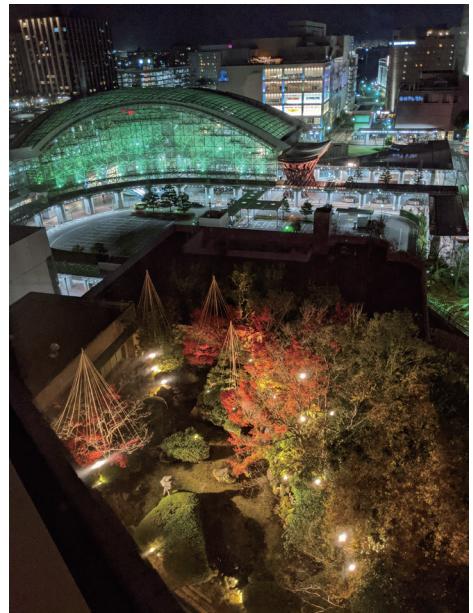
今年度は、コロナの感染状況を踏まえて、北陸3県へ2班に分かれて2泊3日の修学旅行を行いました。雨の多い日が続きましたが、高校3年間で最大の思い出作りをすることができました。



※福井県では、この写真の場所以外に、東尋坊や丸岡城に行った班・クラスがあります。



金沢駅周辺



兼六園周辺



白川郷

一貫校 中学校 だより

◆もう少し知ってみること

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

20数年前のことですが、私は中山道を歩いてみようと思い歩き始めてみたことがあります。一日歩いて家に帰り、次の休みにその続きを歩くという方法です。その頃は人生でも仕事量が最も多い時期がありました。

中学生の頃、自分の家の近く（中学校の校区内）を中山道が通っていて、この道はどこまで続いているのだろうと思い、いつか歩いてみようと思っていたことがきっかけでした。

その昔には多くの人が行き交った道です。日本橋から歩き始め、古い文献を調べ、なるべく昔の道を探して歩くことにしました。

東京都から埼玉県、群馬県は鉄道が並行して走っているので、便利でした。鉄道を早いうちに走らせたこともわかりました。

また、道沿いには食べ物屋さんもあり飲食に困る事はなかったのですが、高崎を過ぎたあたりから昼頃になって食べ物屋さんを探すのに苦労しました。今のようにスマートがない時代に自分の足で必要なものを探すことは思いの外に大変であることが分かり、それ以降は歩き始める時には必ず弁当を持参しました。

これは実際に歩いてみないとわからないことでした。

宿場町を中心に街ができてその街が広がる形で今の街ができています。そして、古い道沿いは古い家になり、車の往来ができるにくい道となつたために街の外側をいわゆるバイパスが通るようになつていて、古い街は元気がなくなっている所が街道に沿つてずっと続いています。栄枯盛衰を見ながら旅をすることが多くなりました。自分の足で移動する時代に栄えて家が立ち並んだ街が車で移動する時代となって道が広げられないことや駐車場ができずに衰退していったのだと思います。

また、安中から先になり更に碓氷峠に入ると旧道は尾根の近くを軽井沢の熊野神社まで続いているのですが、安全な場所に道ができることがあります。昔は人が通つた所が道となり、やがて地図に表現されたのですが、今は地図の上に線を引き、道を作り人が通るという構造になつていて、新しい道路と比較しながらよく分かります。更に、中山道歩きは続くのですが、実際に少し歩くことだけでも机上ではわからないことが沢山あることを経験しました。

さて、中学生の皆さん、勉強の効率を上げるには、興味を持つことが重要です。授業中に話を聞いてそのまま過ごしているのかどうか、人の話を聞いて、ただ聞き流すだけでなく、驚いたことや不思議に思ったこと、たった一つでももう少し知りたいと思うかどうか、ここが大事です。この「なぜ？」が勉強、学びのきっかけになると思います。更に行動してみることに繋がれば一生目指す旅に通ずるものだと思います。

副校長 辻村 好一

◆期末テスト直後に笑顔で集合写真

中学2年生では、団結力を高めるため、月影祭におそろいのマスクを作りました。月影祭は残念ながら中止になつてしまつたのでなかなかつける機会がありませんでしたが、全力で頑張った期末テスト直後に記念写真を撮りました。「6年後の成人式で集まつたらこれをつけよう。」という学年主任の言葉に盛り上がりました。



◆寒空の下、頑張ったマラソン大会！！

12月10日（金）琴平小梅公園で校内マラソン大会が催されました。男子4キロ、女子2キロで走りました。走る前は、多くの生徒が「マラソン大会が嫌だ」とこぼしていましたが、走り終えた後の顔を見ますと、どの生徒もとても清々しく、達成感に満ちていました。



【結果】

3年生男子	1位	羽川拓希	2位	岩崎弘誉	3位	矢島和季
3年生女子	1位	野口芽里	2位	塙沢杏心	3位	田澤花穂子
2年生男子	1位	近藤大翔	2位	福田博基	3位	姚 程
2年生女子	1位	藤井美麗	2位	渡邊さつき	3位	内田 葵
1年生男子	1位	高野旺美臣	2位	鹿沼咲寿	3位	栗原義範
1年生女子	1位	下山芽吹	2位	大豆生田花音	3位	福田 順

幼稚園だより

◆「新年を迎えて」 -充実した幼稚園生活へ-

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしい一年でありますように、お祈り申し上げます。今年も樹徳幼稚園をよろしくお願ひいたします。

さて、3学期が11日（火）よりスタートいたしました。今年度もいよいよ残り3か月です。新しく変異株が出てきている中、なかなか先を予測できませんが、感染者数が落ち着いている現在、園行事も少しずつ元に戻しながら、子どもたちが充実した幼稚園生活を過ごせるように、職員一同努めてまいります。3学期もご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

◆元気いっぱいに頑張った茶臼山親子登山

コロナ禍のために延期しておりました茶臼山親子登山を、昨年11月27日（土）に開催いたしました。当日は、やや気温が低く風も少し吹き始め寒さを感じるくらいでしたが、子どもたちは真っ青な空の下で元気いっぱいに頂上を目指して茶臼山を登りました。途中から、2歳児の子どもたちはお母さんにおんぶや抱っこをされていましたが、ほとんどの子どもたちは最後まで頑張って登り切ることができました。頂上から見える景色はとても美しく、まだ紅葉が残る山々やさらに遠方にはスカイツリー、新宿副都心のビルも見ることができました。

この時期は、落ち葉が積もり小枝がたくさん落ちており、滑りやすい状態の中だけがを心配しましたが、最後まで誰もけがをせず、体調を崩す人もいないで全員で登山を楽しめました。



◆成長が感じられた保育参観（発表会）

29年度から樹徳高校「勢至ホール」で、それ以前は桐生市中央公民館で開催されていた「なかよし発表会」ですが、新型コロナウイルス禍になってしまった昨年度から、本園遊戯室で行われるようになりました。今年度は、12月6日（月）から1週間、各学年ごとに保育参観という形での発表会を開催しました。

当日を迎えるに当たり各学年の子どもたちは毎日一生懸命練習に励んできましたが、たくさんの家族がカメラやビデオを構えている中、やはり緊張感が伝わってきます。月曜日に2歳児からスタートし、最終金曜日は5歳児での締めくくりとなった歌や合奏、劇の発表会でしたが、これまでの練習の成果を一人一人がしっかりと発揮し、大きな声、大きな動き、言葉もはっきりと表現できました。練習の時には失敗も見られ、なかなかうまくいかなかった内容でしたが、さすがに本番での集中力や頑張りには感心いたしました。最高の出来栄えに、保育者も準備に向けての疲れを忘れさせるほどの感動に満ちた発表会でした。

参観していただいたご家族の皆様にも、お子さんの成長した姿を観て十分感動していただけたのではないかでしょうか。

園長 佐野悦生

年長組による劇『十二支の始まり』



合奏『ミッキーマウスマーチ』



入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園まで。

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

住所：桐生市広沢町三丁目4475番地

電話：0277-53-5571

1月(持戒)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	土	元旦 悔過修正会	元旦	祝日(元日) 年末年始休業日
2	日	年始挨拶訪問		年末年始休業日
3	月	職員休暇		年末年始休業日
4	火	1/8振替休日	振り替え休日	冬季休業日 預かり保育③ 安全点検日
5	水	校内安全点検日 授業料納入日	校内安全点検日	冬季休業日 預かり保育④
6	木	始業式 学年別一斉指導 推薦・学奨入試打合せ会議(16:10~) 運営委員会⑤	始業式	冬季休業日 預かり保育⑤
7	金	大掃除 入試会場作成	入試会場作成(樹徳高等学校)	冬季休業日 預かり保育⑥ 保育料納入日
8	土	推薦・学奨入学試験 職員出勤日	推薦・学奨入試(樹徳高等学校)	開園日(預かり保育)
9	日			
10	月	成人の日	成人の日	成人の日
11	火	マイドリーキャンペーン 入試審査準備会 大学入学共通テスト直前演習~12日まで		3学期始業式
12	水	推薦・学奨入学試験審査会 県校長会 一般ステップアップ入学試験ネット出願(受験生)~20日まで	医系進学講座	英語(全)・文字(年長)
13	木	校内書き初め大会 一般入学試験出願書類提出期間~21日まで		体育(全)・文字(年中)
14	金	大学入学共通テスト出陣式 中高協会定例会(常磐) 漢字検定③	マイドリーキャンペーン ミニマナーアップ運動	お誕生日会(1月生)
15	土	大学入学共通テスト1日目 1、2年生ペネッセ総合学力テスト		開園日(預かり保育)
16	日	大学入学共通テスト2日目		
17	月	L H R 鏡開き 入試合格発表日 学年主任会⑨ 大学共通テスト自己採点 教育連携講座(歯科①)	中学朝礼	リズム(全)・線(年少)
18	火	日私中高連常任理事会/協会長・事務局長会議		むし歯予防教室(たけ組) 11:00~ 読み聞かせ(西山先生)
19	水	教育連携講座(歯科②)		お茶のお稽古①(たけ組) 英語(全)
20	木	県高P連次年度役員候補者 推薦委員会(生涯学習センター)		体育(全)・文字(年中)
21	金	制服アフターサービス	三越アフターサービス	文字(年長)
22	土	職員出勤日 第1回入学手続き(9:00~) 英語検定③一次	第1回入学説明会 英検	開園日(預かり保育)
23	日			
24	月	朝礼 国公立大出願検討会 教科主任会⑧		リズム(全)・線(年少)
25	火	法然上人忌		ボール投げ教室 読み聞かせ(西山先生)
26	水	1、2年生中間試験・3年生総合コース卒業試験~28日まで	中間テスト (中学~27日まで、高校~28日まで)	英語(全)・文字(年長)
27	木	一般・ステップアップ 入試打合せ会議	進研学力推移	体育(全)・文字(年中)
28	金	一般・ステップアップ 入試会場作成 大掃除出欠統計提出 書写技能検定③		
29	土	一般・ステップアップ 入学試験 職員出勤日		開園日(預かり保育)
30	日	一般・ステップアップ 入学試験採点		
31	月	生徒家庭学習 1/30振替休日	振替休日	リズム(全)・線(年少)



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稻荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく